



TRUNK (HOTEL)

FOR PARENTS

1 会場決定からお打合せスタートまでに行うこと

ご両家のしきたりを確認する

お料理・引出物・演出など、各しきたりには地域性があります。ご準備のスタートにあたり、一度ご両家様でお話し合いをされることをおすすめいたします。後から「聞いていなかった… 知らなかった…」といったトラブルを避けるためにも、お相手側のしきたりなどは確認が必要です。

招待状の差出人を決める

差出人は挙式披露宴の主催者となります。以下の中からお選びください。

- 親名義 新郎新婦名義
 親名義・新郎新婦連名 新郎新婦名義・親連名

ご媒酌人を立てるか立てないかを定める

ご媒酌人とは挙式披露宴における仲人を指します。近年の結婚式ではあまりお見かけしなくなりましたが、一般的にご媒酌人は結婚式の立会人であり、誓約の証人となり、ご披露宴では式の報告者の役割を果たし、祝杯の発声をします。本来、仲人は媒酌だけでなく、縁談の世話人、結納の使者も務める役割ですが、挙式披露宴当日のみ、格の高い来賓に媒酌を依頼する場合があります。一般的には、ご新郎様の上司や学生時代の恩師などで、正式に結婚している夫婦である人に依頼します。ただ、最近では「ご媒酌人」としてではなく、乾杯のご発声として依頼することが多くみられます。

ご招待客を決める

主にご新郎様ご新婦様がご招待客リストを作成します。また、ご親族様においては親御様が確認し、漏れやお名前間違いがないかを確認します。

席次を決める

ご親族様の席配置は親御様が決められるとスムーズです。親族内の関係性も加味し、皆様が心地よくお過ごしいただける配置をお決めください。

親御様のご準備について

このたびは、ご令息ご令嬢のご成婚誠におめでとうございます。

親御様におかれましてはお慶びもひとしおのことと存じます。

挙式披露宴に向けて、主にご新郎様ご新婦様に

ご準備を進めていただきますが、

親御様にご準備をしていただくこともいくつかございます。

時代の流れと共に結婚式の考え方や

スタイルも変化をしておりますので、

当日に至るまで少しでもご安心いただけますよう

この資料をご参考にご新郎様ご新婦様と共に

相談しながらご準備をお進めいただければ幸いです。

2 会場とのお打合せがスタートしたら行うこと

引出物・引菓子を選ぶ

基本的にはご新郎様ご新婦様本人におまかせする方もいらっしゃいますが、縁起物など地域の慣習をアドバイスされることをおすすめいたします。また最近では、会社関係・友人・親族と引出物を贈りわけしてご用意することも増えてきましたので、その際はご親族様用の引出物・引菓子は親御様が確認されると良いでしょう。

料理・ドリンクを決める

試食会へご新郎様ご新婦様と一緒に参加されることをおすすめいたします（有料）。ご披露宴当日のメニューをゲストの顔ぶれや年齢層に合わせてお選びください。

親族紹介の方法を決める

挙式披露宴当日に親族紹介を行うか否かをご両家様でご検討ください。行う場合には、自己紹介形式か代表者紹介形式かをお選びください。代表者紹介形式の場合は代表者様のご決定もお願いいたします。詳しくはP.04「親族紹介について」をご参照ください。

親族集合写真の参加者を決める

親族集合写真は人数に制限がございます。どなたにご参加いただくかをご両家様でお話し合いの上ご決定ください。

親族集合写真の焼増し枚数を決める

親族集合写真の焼増しは、ご親族様のご家庭に1冊ずつご用意されると喜ばれます。必要枚数をご新郎様ご新婦様へお伝えください。

衣装を決める

和装・洋装の決まりはございませんが、ご両家様でご衣装を合わせることをおすすめいたします。会場提携ショップにてレンタルもしておりますので、会場へお問合せください。詳しくは P.05 「親御様衣装について」をご参照ください。

着付け・ヘアセット・メイクの有無を確認する

会場にて着付け・ヘアセット・メイクをご希望の場合には、ご新郎様ご新婦様へ詳細をお伝えいただくとスムーズです。なお、お申込み後、予約時間の調整を行い、ご新郎様ご新婦様へお伝えをさせていただきます。

※ご列席者の着付け・ヘアセット・メイクは、お承り人数に限りがございます。
※和装着付けの場合、ご用意いただく小物がございます。詳しくは P.5 「和装小物一覧」をご参照ください。
※ヘアセットをお申込みの方は、前開きのお召し物でご来館ください。
※お申込みは、挙式披露宴の3週間前までとなります。
また、挙式披露宴の15日前より変更・キャンセル料を頂戴しておりますので予めご了承ください。

遠方ゲストについて確認する

遠方からお越しになるご親族様がどこに宿泊をされるのか、交通手段は何か、お迎えが必要かを確認します。なお、会場のある都道府県外からお越しになる場合には当方がご手配されるのがスマートです。

貸切りバス手配の有無を確認する

会場にて貸切りバスをご手配される場合は、乗車人数・集合場所・代表者様をご検討の上、ご新郎様ご新婦様へお伝えいただくとスムーズです。当日の状況などを確認する場合がありますので、代表者様は当日バスにご乗車され、ご連絡可能な方をお願いいたします。

親族紹介について

親族紹介の形式

代表者形式

ご両家の代表者様が、それぞれのご親族様を紹介する形式です。

自己紹介形式

ご親族様それぞれが、自己紹介をする形式です。

親族紹介の流れ

1 並び方

ご新郎様ご新婦様と関係が近い順に1列、または複数列にてご両家様が向かい合うように並びます。

1 親等 | 父 → 母

2 親等 | 兄弟 → 父方の祖父母 → 母方の祖父母

3 親等 | 父方の伯父伯母・叔父叔母 → 母方の伯父伯母・叔父叔母

4 親等 | 父方の従兄弟（以下略）



ご新婦様側



ご新郎様側

2 紹介方法

代表者形式 ご新郎様側の代表者様より、「僭越ながら、まず私どもの親族の紹介からさせていただきます。」と挨拶し、代表者様ご自身の自己紹介をします。

ご新郎様側のご家族からおふたりとの血縁関係の近い順に（並び順通り）、「新郎の伯父にあたります〇〇です」のように続柄とお名前を述べ順次紹介していきます。

自己紹介形式 ご新郎様側の代表者様より順番におひとりおひとり続柄と名前を述べていきます。

※住所・職業などは特に紹介する必要はありません。

※親族紹介は身内の紹介になりますので、敬称をつけないように注意しましょう。

※代表者形式の場合は紹介される際に、自己紹介形式の場合はご自身が紹介する際、お顔の見える位置にいていただき、紹介後に一礼されると良いでしょう。

親族紹介の進行に関しては会場スタッフが全て執り行いますので、ご安心ください。

*イメージ

親御様ご衣装について

結婚式で親御様はホストとしてのお役目があります。
ゲストをお迎えするにあたり第一礼装をおすすめいたします。
ご衣装の格、バランスを揃えるためにも、
ご両家様で事前に打合せると良いでしょう。

	父親の結婚式正装	母親の結婚式正装
和装	黒五つ紋付羽織袴	五つ紋付黒留袖
洋装	昼：モーニングコート 夜：タキシード <small>※上着は黒が最も格式高くなります。 ※シャツはウイングカラー（立襟）を着用します。 ※靴、靴下ともに黒を着用します。</small>	昼：アフタヌーンドレス 夜：イブニングドレス <small>※肌の露出がないもの。 ※靴は服装に合わせたパンプスを履きます。 なお、つま先が出るタイプの靴は正式な席では おすすめいたしません。</small>



モーニング

昼から夕方にかけての第一礼装。結
婚式ではもちろん、日本では内閣総理大臣
や最高裁判所長官の新任式などでも
用いられます。



留袖

黒留袖は既婚女性の第一礼装とされ、
新郎新婦の母親、仲人夫人、親族の既
婚女性が着用するものです。

着付けご予約の方にご用意いただく和装小物

紋服

- | | | | |
|---|-----------------------------|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 羽織 | <input type="checkbox"/> 袴 | <input type="checkbox"/> 角帯 | <input type="checkbox"/> 長着 |
| <input type="checkbox"/> 長襦袢 | <input type="checkbox"/> 白扇 | <input type="checkbox"/> 腰紐 2～3本 | <input type="checkbox"/> タオル 3～4枚 |
| <input type="checkbox"/> 雪駄 | <input type="checkbox"/> 足袋 | <input type="checkbox"/> 肌襦袢 (U首の半袖シャツでも可) | |
| <input type="checkbox"/> ステテコまたはロングスパッツ | | | |

留袖

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> きもの | <input type="checkbox"/> 帯 | <input type="checkbox"/> 帯締め | <input type="checkbox"/> 帯揚げ |
| <input type="checkbox"/> 長襦袢 | <input type="checkbox"/> 末広(金・銀の扇子) | <input type="checkbox"/> 足袋 | |
| <input type="checkbox"/> 腰紐 4～5本 | <input type="checkbox"/> 伊達締め 2本 | <input type="checkbox"/> 帯枕 | <input type="checkbox"/> 帯板 1枚 |
| <input type="checkbox"/> 衿芯 | <input type="checkbox"/> 肌襦袢 | <input type="checkbox"/> 裾除け | <input type="checkbox"/> コーリンベルト |
| <input type="checkbox"/> タオル 3～4枚 | <input type="checkbox"/> 草履 | <input type="checkbox"/> バッグ | |

振袖・訪問着・付下げ・その他

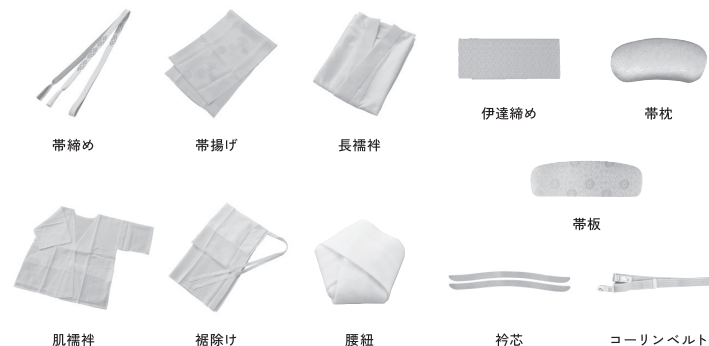
- | | | | |
|---|--|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> きもの | <input type="checkbox"/> 帯 | <input type="checkbox"/> 帯締め | <input type="checkbox"/> 帯揚げ |
| <input type="checkbox"/> 長襦袢 | <input type="checkbox"/> 重ね衿 ^{*1} | <input type="checkbox"/> 腰紐 5～6本 | <input type="checkbox"/> 伊達締め 2本 |
| <input type="checkbox"/> 帯枕 ^{*2} | <input type="checkbox"/> 帯板(変り結びの場合2枚、その他1枚) | <input type="checkbox"/> 衿芯 | |
| <input type="checkbox"/> 肌襦袢 | <input type="checkbox"/> 裾除け | <input type="checkbox"/> 足袋 | <input type="checkbox"/> コーリンベルト |
| <input type="checkbox"/> 三重紐(変り結びのみ) | <input type="checkbox"/> タオル 4～5枚 | <input type="checkbox"/> 草履 | |
| <input type="checkbox"/> バッグ | | | |

^{*1} 伊達衿ですので、必ず必要なものではありません。

^{*2} 帯が変り結びの場合、変り結び用の帯枕をご用意ください。

小物紹介

一部ご紹介させていただきますので、ご参照ください。



小物をお持ちでない方、お忘れになった場合は、販売品もございますので、着付けスタッフにお申し付けください。

※価格については、担当者へお問合せください。

〈注意事項〉

- ① ご別席者様の着付け・ヘアセット・メイクは完全予約制となっております。ご予約がない場合、時間の都合上お受けできない場合がございます。
- ② お申込みは、挙式披露宴の3週間前までにご新郎様ご新婦様を通して所定の申込書でご提出ください。挙式披露宴の15日前より変更・キャンセル料が発生いたします。当日の入り時間は2週間前のご連絡となっております。
- ③ ヘアセットをお申込みの方は、前開きのお召し物でご来館ください。また、ヘア小物をお付けになる場合はお持ちください。
- ④ 小物について
長時間美しく整えるため、伊達衿タイプによっては軽く縫い付けを行う場合がございます。予めご了承ください。
長襦袢に縫い付けてお持ちくださいますようお願いいたします。

※会場にて半衿付けをご希望のお客様は事前にご予約が必要となりますので、担当者までご連絡ください。

3 挙式披露宴の2週間～1週間前までに行うこと

挙式披露宴のタイムスケジュールを確認する

当日の来館時間や基本的な進行を確認します。ご親族様に関係ある部分のスケジュールを把握しておくことで、当日をスムーズにお過ごしいただけます。

ゲストとご新郎様ご新婦様の関係を把握する

最終版の席次表をもとに、予めゲストとご新郎様ご新婦様の関係や、必ずご挨拶が必要なゲストを確認されることをおすすめいたします。

お礼・お車代の用意

主賓・乾杯・受付・スピーチ・余興をお願いするゲストへのお礼、遠方からいらっしゃるゲストへのお車代をご用意します。金額はゲストの立場やお願いしている内容により異なりますので、右記「お礼・お車代・内祝いマニュアル」をご参照いただき、新札の紙幣をご用意しましょう。

ご祝儀の管理者を決める

挙式披露宴当日にゲストの皆様から頂戴するご祝儀は、受付終了からお帰りまでの間、会場金庫に保管いただけます。金庫の施錠・開錠・ご祝儀のお受取りは管理者の方に行っていただきますので、ご新郎家ご新婦家それぞれに管理者を1名ずつご指名ください。貴重品となりますので、ご親族様内でのご指名をお願いします。

ご両家代表の謝辞を考える

挙式披露宴の最後に、ご両家を代表してご挨拶をする代表者様を決めます。一般的には、嫁入りの場合はご新郎家の親御様もしくはご親族様、婿入りの場合は、ご新婦家の親御様もしくはご親族様の中から代表者様を立てます。代表者様はP.10記載の忌み言葉などに注意をしてご挨拶をお考えください。

お礼・お車代・内祝いマニュアル

結婚式でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えるためにお渡しするものです。お渡しする方も金額もさまざまなので、大切な方々に失礼がないよう、基本的なマナーを知っておきましょう。また、当日のご新郎様ご新婦様はいそがしくて直接渡せない場合が多いので、親御様や受付の方からお渡しするのが一般的です。

お礼とは… 主賓や乾杯のご発声、受付やスピーチ、余興など特別な頼みごとをした方へ、感謝の気持ちを込めてお渡しするものです。

お車代とは… 遠方からご出席いただく友人や親戚への交通費のことです。

内祝いとは… 結婚式ご列席者以外でお祝いをくださった方への「お礼」。いただいた金額の半額～6割返しの基本となります。

〈ご準備注意ポイント〉

新札を用意する

使い古しのものを贈るのは失礼なので新札を用意するのが常識です。新札は金融機関で両替しておきます。何かのときのために多めに用意しておきましょう。

ご祝儀袋・ポチ袋を用意する

表書きをするときの書き損じに備えて、多めに買っておきましょう。ポチ袋は、包む金額で色分けすると管理しやすいです。

3 挙式披露宴の2週間～1週間前までに行うこと

	仲人(媒酌人)	主賓・乾杯の発声をお願いした方	遠方からのゲスト	受付をお願いした方	スピーチ・余興を頼んだ方	ゲスト以外でご祝儀やお祝いをくれた方
なにを	<p>お礼とお車代</p> <p>自宅から会場までの往復ハイヤー代をお車代として。さらに、媒酌をしていただくお礼として、別のご祝儀袋にお金を包む。</p>	<p>お車代</p> <p>「お願いをして足を運んでいただく方」なので、自宅から会場までの交通費を用意。</p>	<p>交通費</p> <p>出欠の返事をいただく前に、交通費の負担について連絡。予め伝えた負担金額を包む。チケットを手配し、お送りすることも可。</p>	<p>お礼</p> <p>ご新郎様ご新婦様に代わりゲストを迎え、席次表やお車代などをゲストにお渡ししていただくのでお礼を用意。</p>	<p>お礼や贈り物</p> <p>事前をお願いして準備をしていただくことなので、お礼を用意。気持ちがきちんと伝わるようギフトラッピングしたお菓子なども喜ばれる。</p>	<p>内祝い</p> <p>挙式披露宴当日にゲストに贈った引出物を、内祝いとして贈っても。引出物を多めに注文しておいて贈れるようにしておく。</p>
贈り元	両家の名字	招待した側の名字	招待した側の名字	招待した側の名字 または両家の名字	招待した側の名字	両家の名字
いくら	<p>お車代：1～3万円 お礼：ご祝儀の倍返し</p> <p>お礼の相場はいただいたご祝儀の2倍の金額で20～30万円くらい。当日受付でいただいたご祝儀の金額を確認しお金を包む。金銀など豪華なご祝儀袋を使用。</p>	<p>1万円～</p> <p>往復ハイヤー代として1万円くらい包む。たとえ、それほど料金がかからないとしても1万円以下は失礼とされる。ハイヤーを手配し支払いをした場合は、現金を包まなくても可。</p>	<p>交通費の半額～全額</p> <p>相手の結婚式のときに負担いただいていたら同じ割合、親族ならお互い様という暗黙の了解で各自負担していただくなど、ゲストによって決める。目安は全額～半額。</p>	<p>3～5千円</p> <p>他のゲストより早めに来て、ご祝儀の管理をお願いするので、それなりのお礼を用意。もらった相手が負担に感じない程度の金額で、5千円くらいまでが相場。</p>	<p>2千円～2万円</p> <p>スピーチの場合は2～5千円くらいの贈り物をする。金額は相手との付き合い方に応じて決める。余興でバンド演奏など本格的な演出で盛り上げてくれた方には、2万円くらい包む。</p>	<p>いただいた額の半返し</p> <p>いただいたお祝いの半額か、少し多めの金額を目安に品物を用意。品物でいただいたら、どのくらいするものか調べ半分返す。</p>
どのように	<p>別室を手配して両家で挨拶</p> <p>披露宴おひらき後すぐに。基本は、ご新郎様ご新婦様と両家親御様がそろって、無理な場合は親御様が挨拶をし、菓子折りとともに手渡しするのが正式なマナー。</p>	<p>人目につかない所で頼んだ側の親から</p> <p>相手が受付を済ませた後、親御様から渡す。全員に用意するわけではないので、他のゲストから離れた場所がベター。受付で渡しても可。</p>	<p>状況に応じ、親または受付から</p> <p>負担する方とそうでない方がいる場合は、披露宴が始まる前に親御様から人目につかない所で。ゲストによって差がないのであれば、受付で渡しても可。</p>	<p>受付が始まる前に、受付にて親から</p> <p>受付がスタートする前に、親御様から「〇〇の友人の△△さんですね。よろしくお願います」と、相手を確認した上で渡す。</p>	<p>当日か、後日あらためて</p> <p>挨拶を兼ねてご新郎様ご新婦様、または親御様から渡す。親しい方の場合は、後日あらためて席を設け、ご新郎様ご新婦様から渡しても可。</p>	<p>相手の家まで品物を持参するか発送する</p> <p>結婚式後なるべく早め、1か月以内を目安に。相手の都合が合わず持参できない場合や、遠方に住んでいる方であれば、発送しても構わない。</p>

4 挙式披露宴当日に行うこと

挙式披露宴の一般的な流れ

挙式45分前	親御様・ご親族様会場入り	→ 挙式の45分前に会場入りをお願いいたします。
	着付け・ヘアセット・メイク開始	→ ①ご親族様のご到着状況確認 依頼人数・内容により、来館時間は異なります。
挙式15分前	親族紹介	
	親族集合写真	→ 会場にてご手配されている場合に限りです。
挙式開始	列席者ご来館	
	受付担当者会場入り	→ お礼・お車代を受付時にお渡しいただく場合、受付開始前に受付ご担当者様へお預けいただけます。
受付時間	挙式開始	
	受付	→ ②ご列席者へのご挨拶
披露宴時間	披露宴開宴	
	ご新郎様ご新婦様入場	
	プロフィール紹介	
	祝辞・乾杯	→ ③ご祝辞の拝聴方法
	食事／歓談スタート	→ ④ご披露宴中のご挨拶(お酌)まわり
	ウェディングケーキ入刀	
	中座 お色直し30分	→ ④ご披露宴中のご挨拶(お酌)まわり
	お色直し入場	
	余興／歓談	
	ご新婦様の手紙朗読	
	記念品贈呈	
	両家代表・ご新郎様謝辞	→ ⑤ご両家代表謝辞
	おひらき・退場	
	お見送り	→ ⑥送賓
	会場ご退館	

① ご親族様のご到着状況確認

挙式開始前までに、ご親族様のご到着状況の確認をお願いいたします。挙式へのご列席はもちろん、「親族紹介」など慣例にならった正式な場となりますので、親御様にはご到着状況の把握をお願いいたします。係りの者がお揃い状況を確認に参りますので、お伝えください。

② ご列席者へのご挨拶

挙式披露宴当日のご挨拶はとても重要です。ご新郎様ご新婦様に代わり、主賓や来賓の方々へ失礼のないようにご挨拶されると良いでしょう。

お相手の親御様	会場にご両名様お揃いになり、親御様のお仕度がお済みになった時点でご挨拶されると良いでしょう。
それぞれのご親族様	会場にご到着されましたら、随時ご挨拶され、挙式前までに済まされると良いでしょう。
受付ご担当者	会場にご到着されましたら、受付開始前までにご挨拶されると良いでしょう。 ※お礼やお車代を受付ご担当者からお渡しいただく場合は、ご挨拶とともにお願いをしましょう。
主賓(主賓に準ずる方) 祝辞や乾杯の ご発声を賜る方々	ご来館からご披露宴開宴前までにご挨拶されると良いでしょう。ご披露宴開宴前までのご挨拶が難しい場合は、乾杯後早めにご挨拶されると良いでしょう。 ※その他、恩師やご新郎様ご新婦様が大変お世話になられた方など、ご挨拶を必要とされる方をご新郎様ご新婦様へ確認されることをおすすめいたします。

会社上司・先輩・同僚・ご友人に関しては、ご披露宴開宴後でも良いでしょう。

4 挙式披露宴当日に行うこと

③ ご祝辞の拝聴方法

ご披露宴でのご祝辞は感謝の気持ちを持って拝聴しなくてはなりません。話し手より「どうぞ腰掛けてください」「どうぞお掛けください」「楽になさってください」など声を掛けられたらご着席いただいても構いませんが、それまでご起立いただきます。但し、ご体調が優れないなどご起立いただくのが難しい場合は、事前に係りの者にお申し付けください。

※会場には親御様専属スタッフがおりますので、サポートさせていただきます。
※友人や同僚からのスピーチの場合は、基本的にはご起立の必要はございません。

④ ご披露宴中のご挨拶（お酌）まわり

ご列席者へは、ご披露宴の歓談時間を使ってご挨拶（お酌）まわりをされると良いでしょう。一般的に、主賓 → 来賓 → 友人 → 相手方主賓 → 相手方来賓 → 相手方友人 → 相手方親族 → 親族…の順番におまわりいただきます。

進行を第一優先に考えて

ご披露宴中は、スピーチ、余興、演出など進行が組まれていますので、係りの者がお声掛けをさせていただいた際にはお席へお戻りください。

お色直し入場前までに

ご披露宴終盤は歓談時間も少なくなり、親御様もいそがしくなりますので、ご新郎様ご新婦様のお色直し入場前までにご挨拶まわりを済まされると良いでしょう。

⑤ ご両家代表謝辞

ご披露宴の結びとなるご挨拶は、ご両家様を代表してご列席者への感謝の気持ちをお伝えいただくものです。ご列席いただいた皆様への感謝の気持ちを素直に、且つ、丁寧に述べるのが大切です。近年ではご新郎様のみが謝辞を行うこともございますが、一般的には嫁入りの場合はご新郎家の親御様もしくはご親族様、婿入りの場合はご新婦家の親御様もしくはご親族様の方がご挨拶をし、その後にご新郎様がご挨拶をされるケースが増えています。

〈謝辞ポイント〉

- ① 2～3分程度の長さにする
- ② ゆっくり話す
- ③ 視線を落とさずゲストを見て話す
- ④ 棒読みにならないよう注意をする
- ⑤ 忌み言葉・重ね言葉は使わない

良くないことを連想させる忌み言葉

⇒ 末永い幸せを願う場面にふさわしくない言葉

別れる・切る・壊れる・破れる・失う・失敗・終わる・途絶える・帰る
避ける・死ぬ・患う・倒れる・亡くなる

重ね言葉

⇒ 二度繰り返すのでおめでたい席にはふさわしくない言葉

重ね重ね・くれぐれも・ますます・返す返す・またまた

4 挙式披露宴当日に行うこと

謝辞文例

自己紹介
ご新郎様ご新婦様と
ご自身との関係を
最初にお伝えします

新郎の父にあたります○○○でございます。
○○家、□□家、両家を代表いたしまして、一言お礼の
ご挨拶を申し上げます。

本日はおいそがしい中、沢山の方にお集りいただきまして、
誠にありがとうございました。

ご列席のお礼
ご披露宴にご出席くだ
されたことに対するお礼
の言葉で始めます

現在の心境
結婚式を迎えた親御様の
心境を素直に述べます

さきほどから皆様のお祝いの言葉や励ましを拝聴し、両人
はもとより両家親族一同、感動と幸せを感じております。
皆さんに可愛がっていただき、共に喜んでいただけたこ
とが、息子夫婦にとって何よりの幸せだと思っております。

今、○○が生まれた日のこと、小学校に入学したときの
ことなど、全てが昨日の日のように思い出されます。

思い出を語る
子供時代の思い出など
具体的なエピソードを
入れても良いでしょう

今後のお願い
ご新郎様ご新婦様に
対する叱咤激励の
お願いをします

本日人生の新しいスタート地点に立ったふたりではござ
いますが、親の目から見ますと、まだ未熟で、半人前の夫婦
でございます。どうかこれからも温かく厳しいご指導の
ほどよろしくお願い申し上げます。

ご列席の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、
両家代表のお礼の挨拶とさせていただきます。本日は誠
にありがとうございました。

結びの言葉
ご列席者に今一度
感謝の気持ちを伝えて
結びの言葉とします

ぜひ当日感じた気持ちを一言だけでも謝辞に含め、お伝えすることをおすすめいたします。
当日は、ご列席の方へ想像以上の感謝の気持ちでいっぱいになることと思います。それは
当日でないと感じるができない気持ちです。用意された言葉よりも、実際に当日に親御様
が感じられた嬉しさや感動、ご列席の方への感謝の気持ちを感じたそのままにお伝えする
方が、言葉に心が入り、より伝わりやすいと思います。

⑥ 送賓

ご披露宴おひらき後、ご新郎様ご新婦様と共に送賓口にてご列席者をお見送りいた
だきます。おひとりおひとりに心を込めて感謝の気持ちをお伝えください。しかし、
あまりおひとりおひとりと長くお話されると、ご列席者をお待たせしてしまいますので
ご注意ください。

⑦ お帰り準備

送賓が結びましたら、お帰り準備へとお進みいただきます。お忘れ物のないよう
お支度を整えてください。

ご祝儀

ご祝儀を親御様が所持する場合は、ご祝儀管理者の方よりお受け取りください。

お着替え

当会場にてお着替えをご要望の際は、会場スタッフまでお声掛けください。
お着物のおたため、梱包はいたしかねますのでご了承ください。

荷物発送

当会場より荷物発送をご要望の場合は、会場スタッフまでお声掛けください。
配送費用に関しては、お客様負担(着払い)となりますのでご了承ください。

立居振舞いワンポイントアドバイス

美しい立居振舞いとは

美しく立居振舞う上で何よりも重要なことは「姿勢」です。しかしながら、姿勢をはじめ立居振舞いというものは一朝一夕で身につくものではありません。日々心掛けることが重要です。

男性

- ① かかとをつけ、つま先はこぶし2つ分程開きます。
- ② 背筋を伸ばし、しっかりと肩を開き、顎を引きます。
- ③ 身体の真横に手を自然に下ろし、右手でグローブ（手袋）を軽く握ります。
- ④ 顎を引き、目線は前方に。



グローブ（手袋）の持ち方
グローブ1組を指先が前にくるように重ね、右手で軽く握る。

女性

- ① 足の内側側面をつける。
- ② 背筋を伸ばし、顎を引く。
- ③ 身体の真横に手を自然に下ろします。



挙式入場時の歩き方

（ウェディングステップ）



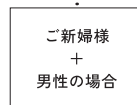
男性

左手はみぞおちの辺りで、親指を中に入れるように軽く握る。

女性

左手でご新婦様の右手をとる。

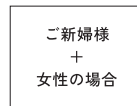
- ① 入場扉が開き、ご列席者のお顔が見える位置まで進み（通常の歩き方）、ご新婦様と共に一礼。
- ② ご新婦様と一緒にゆっくりと前を見て進む。



右足を一步前に出し、左足を揃える



続いて左足を一步前に出し、右足を揃える
（上記の手順で一步ずつ前に進んでいく）



通常の歩き方でお進みください。

※ご新婦様のドレスの裾を踏まないようにご新婦様の半歩前を歩く。
※あくまでもご新婦様のエスコート役のため、歩く速度など、ご新婦様への気遣いを忘れないようにしましょう。